

## ごあいさつ

アジア経済研究所は開発途上国・地域の経済、政治、社会の諸問題について基礎的・総合的・政策志向的研究を行う研究機関として1960年に設立されました。研究所ではそれ以来、アジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカ等、すべての開発途上国・地域を対象として地域研究、開発研究の手法によりつつ研究を実施しております。またこれらの国・地域の資料・文献の収集と公開、日本語・英語による調査研究成果の公刊と普及も行っております。さらに研究所は、日本の開発途上国・地域研究拠点として、国内外の研究者の招聘、共同研究を推進し、1990年からは開発途上国・地域の経済社会開発に携わる人材の育成にも取り組んでおります。

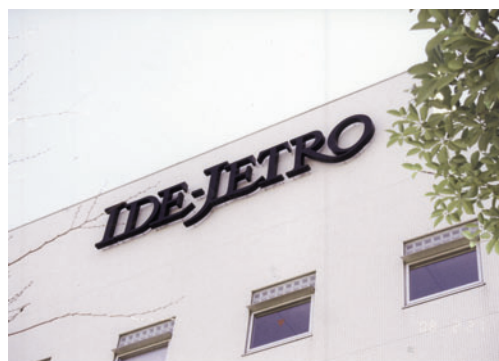
世界はいまきわめて大きな変化のさなかにあります。中国、インド、ブラジルの台頭、ベトナムをはじめとするアセアン諸国の成長等によって、開発途上国・地域は、政治的にも経済的にも、かつてとは比較にならない重要性をもつようになっております。これら開発途上国・地域の台頭は、富と力の分布を変えることで、いずれ世界的にも地域的にも大きな秩序の変容をもたらすこととなります。また日本を除く東アジアの地域では20-25年のうちに人口の60パーセント以上が都市に住むようになると予想されております。いまこの地域の多くの国々では都市と農村の格差克服が大きな政治経済的課題となっておりますが、いずれ都市における貧富の格差克服がそれ以上に大きな課題となることはほぼ確実です。そしてその一方で、失敗国家、破綻国家、崩壊国家などが世界的問題となっていることにも見るように、平和構築、国家建設、貧困削減、経済発展、社会開発などはなお世界的課題であります。

アジア経済研究所ではこうしたきわめて重要な課題に積極的に対応するため、広い視野の下、開かれた地域研究、開発研究の視点から、開発途上国・地域研究の世界的拠点として、先端的研究を実施していく所存であります。みなさまのご支援、ご協力を大いにお願いいたします。



アジア経済研究所長

白石隆



# 組織図

独立行政法人日本貿易振興機構

